

秋田大学教育文化学部 こども発達コース のご紹介

(2017年10月版)

■こども発達コースとは？

こども発達コースでは主に、幼稚園教諭、保育士、小学校教諭の養成をおこなっています。子どもの発達を見通しながら、乳児期から児童期の子どもにかかわる教育や支援をすることができる保育者・教員を養成しています。

大学の講義では、座学だけではなく、子どもをとりまく様々な事柄についてのディスカッションや、実際の現場に赴いての実習や研究もおこなわれています。幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、児童館、乳児院などでの実習やボランティアを通して、子どもたちからたくさんのことを学びます。

子どもと共に過ごす機会を多くもつことによって、実践力を磨くこともできます。

こども発達コースの教員は、主に乳児期から小学生の子どもたちの生活や教育に関わる幅広い課題について、教育学や心理学の視点から研究しています。授業だけでなく、実際の現場で行われる様々な実習、実地研究等の活動に関しても指導、支援しています(担当教員の紹介は、[こちら](#) *を参照してください)。

* http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/teacher/teacher_edu.html#05



■こども発達コースでの学び

○卒業に必要な免許状、資格は？

こども発達コースでは、入学後、下記の①か②のどちらかを選択することになります。

① [幼稚園教諭一種免許 + 保育士資格 + 小学校教諭二種免許]

② [小学校教諭一種免許]

①を選択する学生は、幼稚園教諭と保育士資格を基本とし、乳幼児期の子どもの教育・保育を中心に学びながら、小学校教育との連携を見据えた保育者を目指します。

②を選択する学生は、教科にかかわらず、子どもの発達や教育の本質を考えられる小学校教諭を目指します。小学生の子どもはもちろんのこと、乳幼児期から一生にわたる教育について幅広い視野をもてる小学校教諭を目指します。

○取得可能な免許状、資格は？

卒業に必要な免許状、資格として挙げたもののほかに、中学校教諭一種、高等学校教諭一種、特別支援学校教諭一種、社会教育主事、図書館司書教諭、認定心理士、といった資格も取得可能です。

○4年間の大まかな学びの流れ(例)

1年次では、コース共通科目や入門的科目を通して、幼児教育・保育、教育学、心理学の基礎を学びます。2年次からは専門科目の履修に加え、教育・保育実習がいよいよ始まります。複数回の教育・保育実習に加え、自分なりに興味・関心をもった課題について深めていきます。そして3年次後期からは、大学生活でもった課題意識を明確化し、4年次後期には卒業研究として形に表していきます。

取得予定の免許・資格により、実習が異なります。しかし、どの実習においても大学で学んだことを、保育・教育の現場において実践し、そして省察を繰り返すことが重要です。そのため4年間にわたる教職科目が設けられています。つまり、大学での講義だけではなく、実際の子どもと触れ合い、保育・教育現場で大切なことを肌で感じ、そして理論と実践を結びつけることを繰り返し行うことにより、実践力の高い保育者・教師を目指します。

学年	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
コース 共通	初年次ゼミ	こども発達 援助論				こども発達 ゼミナール		
教職 科目	教職入門Ⅰ 教育実地研究Ⅰ		教育実地研究Ⅱ		教育実地 研究Ⅲ		教育実地 研究Ⅳ	教職実 践演習
実習			教育実習Ⅰ 保育実習Ⅰ-1 介護等体験/ 教育福祉実習		教育実習Ⅱ 保育実習Ⅰ-2	保育実習Ⅱ		副免実習
卒業 研究		卒論発表会等への参加				卒論構想発表会 卒業研究指導教員 の決定	卒論作成 卒論提出 卒論発表会	

○コースの教員が受け持っている科目(一部。2017年度の場合。)

こども発達コースの教員が担当している授業科目の一部を挙げます。本コースがカバーしている領域をイメージする参考にして下さい。

専門教育科目	こども発達援助論, こどもの食と栄養, 保育理論, 保育の内容と方法, 乳児保育, 保育実践研究法, 幼児教育指導法, 幼児心理学, 乳幼児保育演習, 基礎心理学, 心理学基礎実験, 教育心理学実習, 心理学特殊実験, 心理学特殊講義, 発達教育演習, 教育学演習, 教育人間学, 教育思想史, 社会教育学, 社会教育演習, 社会教育計画, 社会教育課題研究, 授業実践研究論, 学校教育研究実習, 他
基礎科目	道徳教育論, 特別活動論, 幼児の理解と指導, 児童の理解と指導, 他
専門基礎科目	教職入門, 教授・学習の心理学, 教育課程論, 教育方法技術論, 情報教育実践論, 他
教養基礎教育科目	教育学, 人間形成論, 教育経営論, 教育制度論, 教育行政論, 教育の理念, 教育の歴史, 生涯学習論, 心理学, 生涯発達心理学, 他

■先輩学生によるコース紹介

こども発達コースに所属する先輩学生によるコース紹介です。
(2015年度作成の教育文化学部・学生協議会委員によるコース紹介を一部改編したものです)

★コースでの学び

こども発達コースは主に乳児期や幼児期を中心としたこどもへの保育や教育の方法やあり方について学んでいくコースです。「幼児教育&保育学」「教育学」「心理学」の3つの観点から「こども」と「発達」の両方を見つめることができます。コースとしては幼稚園教諭や保育士、小学校教諭などの育成に力を入れていますが、一人一人が自分の興味、関心に合わせて多様な学びをすることができます。



写真は授業での泥だんごづくりの様子です。保育の学習では座学だけではなく実際に活動することも多く、机に向かった勉強だけでは分からない様々なことを自らの五感を使って学んでいます。

★学生生活について

こども発達コースは同じ学年の学生間での交流が盛んで、イベントをしたりしています。先輩方も、自分の体験を元に履修の相談や授業、課外活動など様々な面で後輩をサポートしてくれる人が多く、とても温かい雰囲気の中で学生生活を送っています。

★おわりに

こども発達コースは、こどもを通して人間の生涯学習、生涯発達など様々な分野に関心を広げ、自分のやりたいこと、学びたいことを幅広く実現できるコースです。多様な人間関係、学問分野のなかで将来の自分を磨いていきましょう。応援しています。

(文責 2017年度コース主任 細川和仁)